

公益社団法人 宮城県看護協会

仙台北支部報告

第77号

発行

公益社団法人 宮城県看護協会
仙台北支部
編集責任者

***** 令和7年度総会を前にして *****

仙台北支部 支部長 若松恵美

陽春の候 会員の皆様におかれましては益々御清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より支部活動にご協力をいただきありがとうございます。昨年末は、COVID-19とインフルエンザの感染拡大が見られていました。日常生活と感染防止対策は切り離せない状況になっております。私たち医療従事者は、地域の人々の健康を担う役割があり、更なる活躍が期待されております。

さて、2024年度の仙台北支部の活動は、仙台4支部共同で行われた看護のひろば開催からスタートしました。「看護の日・看護週間事業」の一環として、若い世代への看護の魅力発信を目的とした看護のひろばには、308人の方々が参加されました。11月の交流会には、2024年に新設された仙台厚生病院の見学と意見交換会が行われました。また、仙台市介護予防月間事業の元気アップフェスティバルでは、「まちの保健室」を担当し、市民の方々の健康相談を行いました。2月の管理者ネットワークでは、人材確保と質の高いケアを目指し、インドネシア技能実習生の受け入れと教育の実際を紹介し、意見交換が行われました。

仙台北支部会員数は2024年11月現在2,530名です。会員数の推移をみると減少傾向にあります。2025年度も看護の魅力を発信しながら、支部内の管理者との連携を深めて協力体制を築いていきたいと考えております。今後とも支部会員の皆さまには、活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

令和7年度仙台北支部総会を4月25日（金）に開催いたします。総会後には講演会を企画しております。多くの皆さまにご参加いただきますようお願い申し上げます。

☆☆

令和7年度 仙台北支部総会 および 講演会のお知らせ

日 時：令和7年4月25日（金） 総会：15：30～ 講演会：16：30～17：30

会 場：宮城県看護協会会館 看護研修センター 3階 大ホール

テ マ：忙しい日常臨床で実践できる！！ 遺族ケアのtips×エビデンス

講 師：山形県立保健医療大学看護学科 老年看護学 教授 青山 真帆 先生

開催形式：ハイブリット開催 現地参加またはWEB（Zoom）での聴講

申込方法：Googleフォーム QRコードを読み取りお申込みください

申込締切：4月21日（月） 12時

受 講 料：無料

※詳細は北支部ホームページをご覧ください



※総会にご出席の際は、北支部報告 第77号をご持参ください

令和6年度 北支部活動報告

会員数 2,530名

内訳 保健師…… 50名
助産師…… 159名
看護師……2,308名
准看護師…… 13名
(令和6年11月21日現在)

1. 組織運営に関すること

- (1)令和6年度 支部総会
日時：令和6年5月11日(土)
場所：東北公済病院Ⅱ号館
8階大会議室
参加数：出席 25名
委任状 2,060名
合計 2,085名
- (2)支部役員会 下記参照
- (3)支部委員会 下記参照
- (4)協会役員と支部役員との
意見交換会 下記参照

2. 看護の質向上に関すること

- (1)交流会

日時：令和6年11月8日(金)
14:00～16:00

場所：仙台厚生病院
内容：施設見学・意見交換会
参加者数：19名

(2)管理者ネットワーク会議

日時：令和7年2月4日(火)
15:00～16:00

場所：宮城県看護協会会館
看護研修センター
内容：講演と意見交換会
テーマ：看護チームの一員として活躍している海外技能実習生
～インドネシア
技能実習生の教育の実際～

講師：佐藤広子先生
参加者数：15名

3. 地域活動

- (1)まちの保健室

日時：令和6年11月24日(日)

場所：太白区文化センター
内容：健康相談など
参加者数：170名

(2)看護週間行事 看護のひろば

日時：令和6年5月18日(土)
場所：AER2階アトリウム
内容：4支部合同開催
参加者数：308名

(3)管内関連機関との連携

仙台市介護予防月間関係団体会議
3回開催 (6/5、7/8、1/24)

4. その他

- (1)広報
協会ホームページの
支部情報更新 3回
「看護みやぎ」に記事掲載
11月
「仙台北支部報告」発行
令和6年4月1日 第76号

令和6年度 役員会・委員会報告

	開催日	活動内容	活動場所
役員会	R 6. 5. 11	新旧役員引き継ぎ 支部長会報告・各役員会活動について	東北公済病院Ⅱ号館 8階大会議室
	R 6. 7. 6	協会役員と支部役員との意見交換会 支部長報告・各委員会活動報告	宮城県看護協会会館 看護研修センター
	R 6. 9. 10	支部長報告・各委員会活動報告	
	R 6. 12. 10	支部長報告・各委員会活動報告	
	R 7. 2. 4	支部長報告・各委員会活動報告 77号広報発行準備・令和7年度総会準備	
職能委員会	R 6. 5. 11	新旧役員引き継ぎ	東北公済病院Ⅱ号館 8階大会議室
	R 6. 6. 5	仙台市介護予防月間関係団体会議参加	太白区文化センター
	R 6. 7. 8	仙台市介護予防月間関係団体会議参加	宮城県看護協会会館 看護研修センター
	R 6. 7. 10	「まちの保健室」事業打ち合わせ	
	R 6. 9. 10	「まちの保健室」事業打ち合わせ・準備	宮城県看護協会会館
	R 6. 11. 22	「まちの保健室」物品借用	
	R 6. 11. 24	「まちの保健室」 元気力アップフェスティバル出展	太白区文化センター
	R 6. 11. 26	「まちの保健室」物品返却	宮城県看護協会会館
	R 6. 12. 10	「まちの保健室」事業の振り返り	宮城県看護協会会館 看護研修センター
	R 7. 1. 24	仙台市介護予防月間関係団体会議参加	太白区文化センター
教育委員会	R 7. 2. 4	R 6年度活動のまとめ	宮城県看護協会会館 看護研修センター
	R 6. 5. 11	新旧役員引継ぎ	東北公済病院Ⅱ号館 8階大会議室
	R 6. 7. 10	交流会企画	宮城県看護協会会館 看護研修センター
	R 6. 8. 8	交流会打ち合わせ・準備	
	R 6. 9. 10	交流会準備	
	R 6. 11. 8	交流会	仙台厚生病院
	R 6. 12. 10	管理者ネットワーク会議企画・準備	宮城県看護協会会館 看護研修センター
	R 7. 2. 4	管理者ネットワーク会議 交流会・管理者ネットワーク会議・反省会	
推委員会	R 6. 5. 11	新旧委員引継ぎ	東北公済病院Ⅱ号館 8階大会議室
	R 6. 9. 10	令和7年度役員・委員の推薦について	宮城県看護協会会館 看護研修センター
	R 6. 12. 10	令和7年度役員・委員推薦者の確認 今後の活動内容の確認	

令和6年度支部活動決算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

1 支部活動収入の部

(単位:円)

科 目	①予算額	②精算額	差異(①-②)	備 考
I 支部活動収入	760,000	413,944	346,056	
①本年度支部活動費(当初)	760,000	413,944	346,056	
II 雑収入	0	0	0	
	0	0	0	
			0	
			0	
収入 計 (A)	760,000	413,944	346,056	

2 支部活動支出の部

支出の部:△印は予算より支出増

科 目	①予算額	②精算額	差異(①-②)	備 考
I 公益目的事業会計	233,000	62,335	170,665	
①まちの保健室事業	109,000	19,450	89,550	
②看護週間事業	0	9,100	△ 9,100	
③教育研修事業	60,000	14,926	45,074	
④ネットワーク事業	49,000	18,859	30,141	
⑤その他	15,000	0	15,000	
II 収益事業等会計	162,000	127,289	34,711	
①広報活動(会報)	162,000	127,289	34,711	
III 法人会計	365,000	224,320	140,680	
①総 会	78,000	58,040	19,960	
②役員会	171,000	156,646	14,354	
③委員会	100,000	8,840	91,160	
④事務費	16,000	794	15,206	
支出 計 (B)	760,000	413,944	346,056	
収支差額(C)=(A)-(B)	0	0	0	

❖❖❖❖❖❖❖❖ 令和7年度支部活動計画書 ❖❖❖❖❖❖❖❖

仙台北支部			
【地区支部の現状と課題】 令和6年度は通常通り「看護のひろば」「交流会」「まちの保健室」を行い、看護の魅力発信や地域住民の健康増進につながる活動を行うことができた。 会員数は減少傾向にある。職能団体としての意義や目的を明確に示しながら、活動や会員獲得に向けての取り組みを続けていくことが必要である。			
【令和7年度の活動方針】 1. 支部内管理職ネットワーク体制を再構築し、連携促進を図る 2. 研修会等を通じて、会員として活動を推進するとともに新会員の獲得を行う 3. まちの保健室事業を通し、地域住民と交流を図り、健康増進に貢献する			
1 組織運営に関すること	(1) 支部総会 日 時：令和7年4月25日（金）15時30分～ 場 所：宮城県看護協会会館 看護研修センター3階 大ホール (2) 役員会 5回開催（6月、7月、9月、12月、2月） (3) 委員会 5回開催（6月、7月、9月、12月、2月） (4) 宮城県看護協会と各支部合同会議 日時：令和7年7月5日		
2 看護の質の向上に関すること	(1) 教育研修 ①日 時：令和7年4月25日（金）16：30～17：30 テーマ：忙しい日常臨床で実践できる！！遺族ケアのtips×エビデンス 講 師：山形県立保健医療大学看護学科老年看護学 教授 青山真帆 場 所：宮城県看護協会会館 看護研修センター3階 大ホール ②日 時：令和7年10月予定 場所：未定 テーマ：未定 (2) 看護管理者ネットワーク会議 日 時：令和7年12月予定 場所：未定 テーマ：未定		
3 地域活動	(1) 看護週間行事「看護のひろば」 日 時：令和7年5月18日（日） 場 所：AER 2F アトリウム（4支部合同） (2) まちの保健室開催 日 時：令和7年		
4 その他	(1) 支部活動の広報 ①支部だよりの発行（年1回） ②宮城県看護協会ホームページ掲載（随時）		
予 算	支部会計区分	前年度予算	当年度予算
	I 公益目的事業会計（研修・まちの保健室等）	233,000円	276,000円
	II 収益事業等会計（支部だより発行等）	162,000円	162,000円
	III 法人会計（総会・委員会等）	365,000円	346,000円
	合 計	760,000円	784,000円

***** 令和7年度支部活動予算書 *****

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

1 支部活動収入の部

(単位：円)

科 目	①当年度予算	②前年度予算	差異(①－②)	備 考
I 支部活動収入	784,000	760,000	24,000	
①支部活動費	784,000	760,000	24,000	
			0	
II 雑収入			0	
			0	
			0	
収 入 計 (A) (= I + II)	784,000	760,000	24,000	

2 支部活動支出の部

科 目	①当年度予算	②前年度予算	差異(①－②)	備 考
I 公益目的事業会計	276,000	233,000	43,000	
①まちの保健室事業	79,000	109,000	△ 30,000	
②看護のひろば事業	25,000	0	25,000	
③研修事業	105,000	60,000	45,000	
④ネットワーク事業	52,000	49,000	3,000	
⑤その他	15,000	15,000	0	
II 収益事業等会計	162,000	162,000	0	
①広報活動(会報)	162,000	162,000	0	
②その他	0	0	0	
III 法人会計	346,000	365,000	△ 19,000	
①総 会	78,000	78,000	0	
②役員会	156,000	171,000	△ 15,000	
③委員会	100,000	100,000	0	
④事務費	12,000	16,000	△ 4,000	
⑤その他	0	0	0	
支 出 計 (B) (= I + II + III)	784,000	760,000	24,000	

***** ま ち の 保 健 室 *****

仙台北支部 職能委員 櫻 井 奈 美



11月24日（日）元気力アップフェスティバルに「まちの保健室」として参加してきました。今回は仙台市シルバーセンターが改修工事であったため、太白区文化センターへ場所を移しての開催となりました。出だしはゆっくりでしたが、延べ170名の方がまちの保健室のブースにお立ち寄りいただきました。今年度は、血圧測定と健康相談、血管年齢測定、肌年齢測定を行いました。お立ち寄りいただいた方からは、健康増進、介護予防についての質問などが聞かれました。また、他のブースでも、

様々な健康相談や測定がおこなわれ健康に対する意識がとて高くなってきていると実感しました。

人生100年時代、健康寿命を延ばしいつまでも自分らしく生き生きと暮らすための生きがい作り、健康作りに看護協会としても多職種と連携し、積極的に参画していく必要があると感じました。

***** 交 流 会 *****

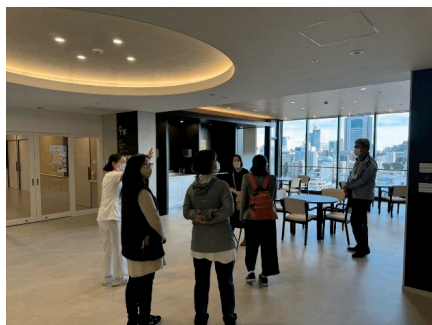
仙台厚生病院見学会

仙台北支部 教育委員 只 野 理 乃

令和6年11月8日（金）に、4月に新病院を開院された仙台厚生病院様の全面協力のもと、仙台北支部教育委員主催の交流会として仙台厚生病院見学会を開催いたしました。看護師、看護教員、事務員などに加えて一般の方にもご応募いただき、19名の方が参加されました。

はじめに、仙台厚生病院の小畑由美看護部長より病院・看護部の概要についてお話をいただきました。患者さんのための看護の質の向上と、職員が働きやすい環境をつくるための様々な取り組みについてご紹介いただき、参加者の方々はうなずいたりメモを取ったりしながら聞いていました。その後、病院内を見学させていただきました。患者さんの安全・安楽はもちろん、看護職員の働きやすさにも配慮した設備や、ホテルのような内装に複数の参加者から感嘆の声が上がっていました。見学までの待ち時間は各グループで意見交換を行いました。参加者からは「地域のリソースを知り連携を深める機会になった」「他施設の方のお話を聞くことができ有意義な機会だった」などの感想があり、交流会後のアンケートでは参加者全員から「非常に満足」もしくは「満足」との回答が得られました。

仙台厚生病院の看護部長・副看護部長・看護師長の皆様方には、お忙しい中手厚いご対応をいただきましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



***** 看護のひろば *****

仙台北支部 副支部長 佐々木 三千代

「さあ、看護の未来を、見つけにいこう」をテーマに、5月18日（土）アエル仙台2階アトリウムにて、「看護のひろば」を4支部合同（北支部・南支部・東支部・黒川支部）で開催しました。少子化と高齢化が進む今、看護の担い手不足は深刻です。北支部は進路相談コーナーを担当し、これから看護の道を目指したいと考えている小中高生と、そのご家族に看護の魅力をPRしました。健康チェックコーナーでは、血圧測定や肌年齢測定を担当し、多くの皆さまにご参加いただきました。＜かんごちゃん＞は小さいお子様に大人気で、配布した看護の日グッズも大好評でした。

5月12日は



看護の日

看護の心をみんなの心に

***** 看護管理者ネットワーク会議 *****

看護チームの一員として活躍している
外国人技能実習生

～インドネシア技能実習生の教育の実際～

仙台北支部 教育委員 佐藤 正 英

令和7年2月4日（火）に仙台北支部 看護管理者ネットワーク会議を開催致しました。例年12月の開催のところ、今年度は2月開催となりましたが15名の方にご参加いただきました。今回の管理者ネットワーク会議では、看護師・看護補助者の人材確保から、外国人技能実習生を受け入れる施設が増えてきたことで、外国人技能実習生受け入れの取り組みについてをテーマに東北公済病院 管理看護師長 佐藤広子先生を迎え「看護チームの一員として活躍している外国人技能実習生～インドネシア技能実習生の教育の実際～」のご講義をいただきました。

外国人技能実習制度や受け入れの準備、教育方法などの体験談や、インドネシア文化の理解など貴重なお話を伺いました。その後のグループワークでも、看護師・看護補助者の人材の確保の取り組みや、外国人を受け入れる際の課題など多くの意見交換がありました。

事後アンケートの結果では、全参加者より「満足だった」との回答が見受けられました。また、アンケートの自由回答からは「外国人技能実習生の受け入れの話はとても新鮮に感じた」「普段聞くことのないテーマについて伺えてよかった」などの意見を頂きました。

今後も会員の皆様に興味をもって参加いただけるような企画をして参りますので、ご参加の程よろしくお願いたします。



※※※※※ 令和7年度宮城県看護協会仙台北支部役員一覧 ※※※※※

役員・委員名	氏 名	職 能	施 設 名	新・継
支 部 長	若 松 恵 美	看護師	東 北 公 済 病 院	継
副支部長	合 澤 美 幸	看護師	東 北 大 学 病 院	新
書 記	坂 井 舞	看護師	東 北 大 学 大 学 院	継
	針 生 真由美	看護師	内 科 佐 藤 病 院	新
会 計	岩 石 裕 子	看護師	東 北 大 学 病 院	継
	高 橋 安 芸	看護師	仙 台 厚 生 病 院	新
職 能 委 員	佐 藤 晃 子	保健師	東 北 福 祉 大 学	継
	熊 谷 英 美	保健師	宮城県対がん協会がん検診センター	新
	松 田 幸 子	助産師	東 北 大 学 病 院	新
	伊 東 綾 子	看護師	貝 山 中 央 病 院	継
	小 室 貴 彦	看護師	東 北 大 学 病 院	継
	佐 藤 海 斗	看護師	イムス明理会仙台総合病院	新
教 育 委 員	菅 野 真 貴	看護師	東 北 公 済 病 院	継
	佐 藤 正 英	看護師	東北福祉大学せんだんホスピタル	継
	佐々木 麻衣子	看護師	仙 台 厚 生 病 院	新
	青 野 都	看護師	仙 台 赤 門 短 期 大 学	新
	只 野 理 乃	看護師	東 北 大 学 病 院	継
	升 川 研 人	看護師	東 北 大 学 大 学 院	継
推 薦 委 員	裊 岩 美 之	保健師	宮城県保健福祉部精神保健推進室	継
	伊 藤 紋	助産師	東 北 公 済 病 院	継
	浅 沼 寛 子	看護師	仙 台 厚 生 病 院	継

新年度が始まると、新しいメンバーやプロジェクトが始まり、わくわくすることがたくさんありますね。新しい環境や仲間との出会いを大切に、新たな気持ちで取り組んでいきましょう。令和7年度も、皆さまのお力をお借りして活動をしてまいります。ご協力の程、よろしくお願いいたします。

仙台北支部 副支部長 佐々木 三千代